

この穴なあに？

いきなりですがクイズです。
ボウリングのボールには穴（ホール）をルーラー
上いくつまであけることができるでしょう
か？
改めて考えると難しいかもしれませんね？
答えは・・・五つまでとなります



指穴は、親指を入れずに投げるボウラーや両手
投げなどが増えてきましたが、基本的には親
指・中指・薬指と入れるので三つはあけるとい
うのは想像がつくかと思いますが。なお指穴用と
してドリルした穴には必ず指を入れるという
ルールがありますので覚えておきましょう。

つうしんでボールのバランスというお話しし
ましたが、レイアウトやボールの構造により、
バランス規定からオーバーしてしまう場合が
あります。
そのときにあけられるのがバランスホールな
のです。この穴をあけることによって、規定に
収まるようにバランスの調整がなされます。
と、以前まではあくまでバランスを調整する目

的だけでしたが、近年はこのバランスホールに
ついても様々な研究がなされています。それは、
バランスホールをあける位置・大きさ・深さな
どにより、ボールの動きに作用するというもの
です。自分もいろいろなメーカーさんのセミナ
ーなどに参加させていただいていますが、メー
カーによってはバランスホールをあける前提
でコアの設計をしているところもあるそうで
す。個人的にはメーカーによって考え方が多少
違うように感じています。共通している点に
はリアクションを出したい場合は深くてコア
に当たるような穴にするということです。実際
に自分の場合、バランスが規定オーバーの場合
はもちらんですが、規定内となっている場合に
もバランスホールをあける場合が多いです。
また実際に打球をしてからバランスホールの
位置を決めることもあります。
何度がバランスホールの実験をしたことがあ
りますが、あける前とあけた後の比較で動きに
かなりの差が出た例もありました。
ただし、ボールがレインで転がった部分（レイン
と接地する部分）にはあけることができません。
また大ききにも決まりがあります。
なお正確に言うと、「指穴」「エクストラホール
（一つまで）」を合わせて最高五つまでとなり
ますのでバランスホールは複数あけることは
できませんし、指穴用で五つあけている場合に
はバランスホールをあけることができません
のでこれも注意です！
たった一つの穴なのかもしれませんが、大きな
仕事をしています。

〈ドリラーのひとりごと 第25話〉
プラス・マイナス

今回はスコアに関する用語というより言葉に
ついてご紹介します。

会話の中やテレビの解説などで、「プラス二十
五点だった」とか「このゲームはマイナスだっ
た」など、「プラス」「マイナス」という表現を
聞いたことがあるかもしれません。

これは二百点を基準にプラス・マイナスを表現
しています。ですので、二二〇点ならプラス二
十点、一八五点ならマイナス十五点となります。
ですので「このゲームはマイナスだった」とい
うのは二〇〇点に届かなかったということをも
意味しています。

これは一ゲームのだけではなくトータルピン
についても使われます。例えば三ゲームトータ
ルの場合では、基準が二〇〇点×三ゲームの六
〇〇点となるので、六七三点であればプラス七
十三点と表現をされます。

大きな大会になると、ゲーム数もかなり多くな
りますので、プラス・マイナスで表現したほう
がわかりやすくもなります。またプロトナメ
ントでよく採用されるサウンドロビン方式で
は予選トータルピンのプラス分をボーナスと
して持ち込む場合などもあります。



〈筆者〉
佐取賢プロ(44期)
JPBA/PBAプロ級
JPBA B級インストラクター
JBC公認ドリー